

都市再生整備計画 事後評価シート  
美馬地区

平成30年3月

徳島県美馬市

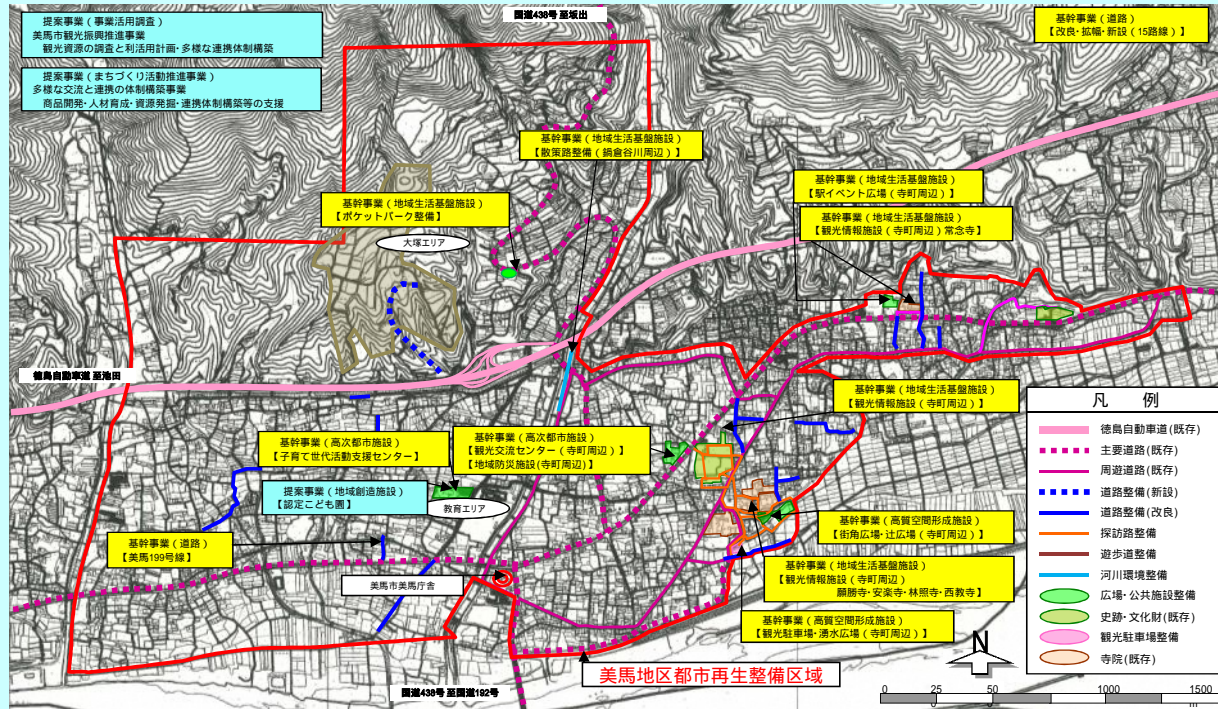
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	徳島県		市町村名	美馬市		地区名	美馬地区			面積	600 ha			
交付期間	平成24年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	1994百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業 市道改良事業(6路線)、地域生活基盤施設(寺町周辺観光ルート整備、鍋倉谷川環境整備)、高質空間形成施設(寺町環境整備) 美馬市観光振興推進事業、多様な交流と連携の体制構築事業		事業名									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道改良事業(1路線) 郡里廃寺跡周辺整備(郡里廃寺跡周辺) 段の塚穴周辺整備(段の塚穴周辺)		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	未利用地有効活用推進事業 郡里廃寺跡の保全と利活用推進事業		・市道改良事業(美馬292号線):他事業にて実施したため削除 ・郡里廃寺跡周辺整備:当初は観光拠点として、国指定史跡である郡里廃寺跡周辺に駐車場の整備を計画していたが、平成28年12月に、広い駐車場を有する観光交流センター(道の駅)を近傍に整備することとなったため、削除 ・段の塚穴周辺整備:国指定史跡である段の塚穴周辺において、埋蔵文化財の試掘等に不測の日数を要したため、現計画からは削除(内容を精査した上で、2期計画において実施)			・市道改良事業:影響なし ・郡里廃寺跡周辺整備:影響なし ・段の塚穴周辺整備:影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	市道改良事業(9路線) 地域防災施設整備(寺町周辺) ポケットパーク整備(大塚エリア) 観光交流センター整備(寺町周辺) 子育て世代活動支援センター整備(教育エリア)		・市道改良事業 美馬323号線・美馬414号線:老朽化が著しく、交通安全確保のため 美馬180号線・美馬195号線・美馬206号線:老朽化が著しく、排水処理機能の向上及び交通安全確保のため 美馬265号線:観光地への交通安全確保のため 美馬199号線・美馬223号線:子育て世代活動支援センター・認定こども園等の整備に併せ、アクセス道の強化、通学生らの安全確保のため 美馬222号線:新規誘致企業の立地に伴う新設 ・地域防災施設整備(寺町周辺):観光交流センターと隣接する道の駅の防災施設施工に併せ、備蓄倉庫等の防災施設を併設 ・ポケットパーク整備(大塚エリア):新規誘致企業の立地に伴い、周辺住民の生活環境の向上及び通行者の休憩のため事業を追加 ・観光交流センター整備(寺町周辺):美馬市北部エリアの観光交流の拠点となる中核施設の必要性から ・子育て世代活動支援センター整備(教育エリア):子育て支援施設の充実のため			・市道改良事業 美馬323号線・美馬414号線・美馬180号線・美馬223号線・美馬206号線・美馬195号線・美馬265号線・美馬199号線:影響なし 美馬222号線:目標を定量化する指標を変更 ・地域防災施設整備(寺町周辺):影響なし ・ポケットパーク整備(大塚エリア):目標を定量化する指標を変更 ・観光交流センター整備(寺町周辺):目標を定量化する指標を上方修正 ・子育て世代活動支援センター整備(教育エリア):目標を定量化する指標を変更						
		提案事業	認定こども園教育エリア		・子育て支援施設の充実のため			・目標を定量化する指標を変更						
	交付期間の変更	当初	平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし							
		変更	平成24年度～平成29年度											
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
		指標1	産地直売所の年間入り込み者数	人/年	56,000	H23	69,000	H29	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
		指標2	観光客受入寺院の年間入り込み者数	人/年	800	H23	1,000	H29	75,101	80,043		あり	ハードとソフトの両面から、「寺町環境整備事業」として広場や駐車場等の整備や、「多様な交流と連携の体制構築事業」として地域産品のPR活動等の実施により、観光客や市民の好評を得、指標を達成したものと見られる。	平成31年4月
指標3		従業者総数	人/年	10,203	H24	10,300	H29	1,027	1,098	x	あり	ハードとソフトの両面から、「寺町周辺観光ルート整備事業」として情報板の設置や、「美馬市観光推進事業」として地元住民による観光ガイドの実施などにより、観光客の好評を得、指標を達成したものと見られる。	平成31年4月	
指標4		地域活力率	%/年	57	H24	60	H29	10,513	9,235		あり	人口減少、市内企業の倒産など、従業者数について、厳しい状況が続いているなか、働きやすい環境整備が進められており、生産年齢人口に対する従業者数(指標4)が増加するなど、好影響の兆しが見えるため、今後の推移に期待がもてるものとなっている。	平成31年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1					モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	事業活用調査(美馬市観光振興推進事業)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も適宜実施し、事業の進捗、効果を確認する。						
	住民参加プロセス	まちづくり活動推進事業(多様な交流と連携の体制構築事業)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も適宜実施し、事業の進捗、効果を確認する。						
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり活動推進事業(多様な交流と連携の体制構築事業)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後もまちづくり関係団体等の主体的な活動の継続性を保障するため、市は後方支援を強化していく。							

## 様式2 - 2 地区の概要

美馬地区(徳島県美馬市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
大目標: 歴史と文化と暮らしが響き合う"みんなのふるさと美馬" 目標1: 商工業の振興のための農業や観光と商工業が連携する「美馬産地直売所の活性化」 目標2: 観光産業の発掘のための歴史文化と観光が融合する「寺町や史跡の観光資源化」 目標3: 地域社会のニーズに対応し、安心して生活できる「子育てと仕事の両立する環境の向上」	産地直売所の年間入り込み者数	単位:人/年	56,000人	H23	69,000人	H29	80,043	H29
	観光客受入寺院の年間入り込み者数	単位:人/年	800人	H23	1,000人	H29	1,098	H29
	従業者総数	単位:人/年	10,203人	H24	10,300人	H29	9,235	H29
	地域活力度	単位:%/年	57%	H24	60%	H29	60%	H29



まちの課題の変化

本計画では、寺町への観光ルート整備を進めるとともに、観光交流センター・観光駐車場・観光案内看板等のハード整備を進めてきた。また、現計画期間に発足したボランティアガイドなどのソフト施策にも取り組んだ結果、産地直売所の活性化や寺院来訪者の増加が図られた。  
 本計画では、少子化を迎えたまちのコンパクト化を進めるために、5つの幼稚園、2つの保育園を統合し、美馬認定こども園等のハード整備を進めてきた。子育て世代の就労者に、充実した子育て環境を提供したことなどにより、従業者数の増加には至らなかったものの、地域活力度(生産年齢人口に対する従業者割合)の増加に繋がった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

現計画に取り込んだ結果、従来からの観光資源である寺町や段の塚穴等は、歴史愛好家等の一定の来訪者から好評を得ているところであるが、来訪先や来訪者の層は限定的なものとなっている。  
 このため、寺町や段の塚穴等の魅力をより高めるとともに、それらと新たな観光拠点である観光交流センターを回遊できるよう結ぶため、道路環境や情報版を充実させる。これにより、地区全体の魅力を向上させ、より多くの集客を図ることとする。